

グリーンをクリーンに!

ダコグリーン

顆粒水和剤

ダコグリーンは株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

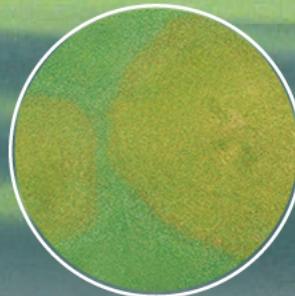
チウラム・TPN水和剤

ダコグリーン顆粒水和剤の特長

- TPN とチウラムとの相互作用で
病原菌の感染や藻類、コケ類の発生・拡大を防ぐ。
- 耐性菌の出現事例はなく、
基幹予防剤として安心して長く使える。



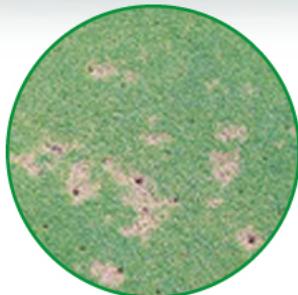
ドレクスレラ葉枯病(ペントグラス)



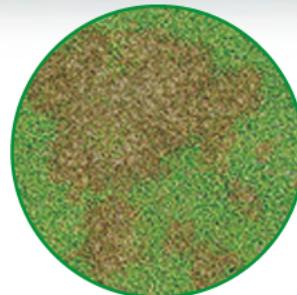
葉腐病(ブラウンパッチ)



炭疽病



ダラースポット病



カーブラリア葉枯病



藻類



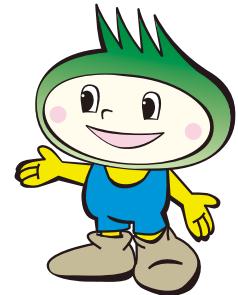
コケ類

タコグリーン

顆粒水和剤

1 kg入り

●成分：チウラム……30.0% TPN……50.0% 鉱物質微粉、界面活性剤等……20.0%

●人畜毒性：普通物^{*} ※毒劇物に該当しないものを指している通称

適用病害と使用方法

| 作物名 | 適用病害名 | 希釈倍数 | 使用液量 | 使用時期 | 本剤の使用回数 | 使用方法 | チウラムを含む農薬の総使用回数 | TPNを含む農薬の総使用回数 |
|-----------------|---------------------------------|-------|---------------------|------|---------|------|-----------------|----------------|
| 日本芝 (こうらいしば) | カーブラリア葉枯病 | 250 倍 | 0.5ℓ/m ² | 発病初期 | 8 回以内 | 散布 | 8 回以内 | 8 回以内 |
| 西洋芝 (ベントグラス) | ダラースポット病 炭疽病 葉腐病(ブラウンパッチ) | | | | | | | |
| 西洋芝 (ブルーグラス) | ドレクスレラ葉枯病 | | | | | | | |

適用雑草と使用方法

| 作物名 | 適用雑草名 | 使用時期 | 使用量 | | 本剤の使用回数 | 使用方法 | チウラムを含む農薬の総使用回数 | TPNを含む農薬の総使用回数 |
|-----------------|-------|----------------------|-------------------|---------------------|---------|------|-----------------|----------------|
| | | | 薬量 | 希釈水量 | | | | |
| 日本芝 (こうらいしば) | 藻類 | 芝生育期 (藻類発生前) | 2g/m ² | 0.5ℓ/m ² | 8 回以内 | 散布 | 8 回以内 | 8 回以内 |
| 西洋芝 (ベントグラス) | | 芝生育期 (藻類発生前～発生初期) | | | | | | |
| | コケ類 | 春夏期芝生育期 (コケ類発生前) | | | | | | |

⚠ 効果・薬害等の注意

- 強アルカリ性の薬剤との混用はさける。
- 夏期高温時の散布は、葉が褐色または黄化があるので注意する。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないようにし、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

⚠ 安全使用上の注意

- 誤飲、誤食などのないように注意する。誤って飲み込んだ場合は吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせる。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。

- 粉末は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 本剤は皮ふに対して刺激性があるので、皮ふに付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用する。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体质の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさける。
- 夏期高温時の使用をさける。
- 蚊に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようする。
- 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。
- **魚毒性**…水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用する。養殖池周辺での使用はさける。水産動植物(甲殻類、藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。
- 使用残りの薬剤が生じないよう調製を行い、使い切る。**空袋は圃場などに放置せず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。**
- **保管**…直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼・乾燥した場所に密封して保管する。
- 火災時は、適切な保護具を着用し、水・消火剤等で消火に努める。
- 漏出時は、保護具を着用し、掃き取り回収する。
- 移送取扱いは、ていねいに行う。

●空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理する。

●使用前にはラベルをよく読む。 ●本剤は小児の手の届くところには置かない。 ●ラベルの記載以外には使用しない。